

東山区まちづくり運営方針

基本理念

山紫水明の都 結び合う心 東山の未来

山紫水明の景観と環境、文化を未来に紡ぎ、人と人が結び合う心でつながりを深め、誰もが安心して、生き生きと暮らせる東山の未来を築いていきます。

5つの将来像

安心・安全に暮らせるまち

古い木造住宅や空き家、細街路が多い地域特性を踏まえ、日ごろから、地域をあげて防火・防災対策や防犯・交通安全対策・見守り活動等に取り組むことで、誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指します。

誰もが生き生きと活躍できるまち

複雑・複合的な課題に対して、きめ細やかな支援を継続できるよう、区民・地域団体・事業者・学校等の多様な主体が垣根を越えてゆるやかにつながり、世代を問わず支え合う場や機会を創出することで、誰もが生き生きと活躍できるまちを目指します。

子ども・若者を地域全体ではぐくむまち

地域全体で子どもを見守り育てる包摂性を大切にし、つながり、支え合う子育て環境を充実することで、子育て世代の孤立リスクを防ぎ、東山区の未来をひらく全ての子ども・若者の成長を見守りはぐくむまちを目指します。

地域の強みを生かし、新たな活力が創出されるまち

地域のつながり、伝統産業、観光資源等の強みや魅力を次世代へ引き継ぐとともに、地域で働く人や学生など、東山区と関わる多様な人々に伝えることで、地域愛着の醸成、定住促進等を図り、新たな活力が創出されるまちを目指します。

区民生活と観光が相互に尊重される住みよいまち

観光事業者、観光客、区民等がお互いを尊重しながら、地域における共存や調和を図るための取組を推進することで、持続可能な観光を共に創り上げ、誰もが住みよいと実感できるまちを目指します。

令和8年度の主な取組

地域防災や市民生活の安心・安全の取組

- ◆ 学区の安心安全ネット継続応援事業
防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策などの分野において、地域が自主的・主体的に行う安心安全に関する取組を支援する。
- ◆ つながる防災コミュニティの実現
防災訓練等を通して、地域・世代が繋がる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。今年度は、全市的に実施される避難所運営マニュアルの改定に併せて、講演会やワークショップを実施し、災害に強いまちづくりに繋げていくとともに、備蓄物資の充実など、防災対策を推進する。

地域のつながりを維持・向上させる取組

- ◆ 地域コミュニティHubにおけるマッチング事業
地域の課題・社会資源を幅広く捉え、区内で活動する地域団体や事業者等の掘起こしと、相互に交流できる場の設定や課題解決に資すると思われる団体等のマッチング支援を行う。また、課題解決の手法として、「居場所」の創出に取り組む。
- ◆ 東山区民ふれあい事業
区民の区に対する愛着心を醸成し、子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流し、ふれあいを創出するため、区民による運営参加の下、「東山区民ふれあいひろば」や「東山区民ふれあい作品展」を実施する。

健康やいのちを守る取組

- ◆ つながる防災コミュニティの実現【再掲】

人口減少や少子化対策の取組

- ◆ 住んでこそ！東山プロジェクト
区民・事業者・行政が連携し、定住・移住への意欲を喚起する方策を進め、持続可能な定住意欲の喚起、関係人口の増加及び移住促進へと繋げていく。具体的には、SNSやホームページ等を用いて、区民により身近な東山の情報や移住施策等の情報発信を行い、東山に住む魅力の発信に取り組む。
- ◆ 地域ぐるみで子どもたちをはぐくもう！東山
急速に少子化が進む中で、妊娠・出産や育児の不安や悩みを共有できる同世代の関係が生まれにくく、子育て家庭が地域で孤立するリスクが増大している。このため、赤ちゃんが誕生した家庭へ主任児童委員が東山区ならではのお祝い品を届ける「東山はぐくみハッピーギフト」事業や、地域の子育て支援機関等と連携した交流会等を通して、子育て家庭と地域とのつながりづくりを応援し、子育てしやすいまちづくりを推進する。

魅力発信、文化振興等の取組

- ◆ 東山区まちづくり支援事業
地域の様々な課題の解決に向けて、区民等が自発的・自主的に企画、運営するまちづくり活動の経費の助成、情報交流や活動の伴走支援を行う。
- ◆ 東山区まちづくり運営方針の推進
誰もが生き生きと暮らし、活躍することができる地域社会の実現に向けて、区まちづくり運営方針の取組を推進します。